

令和3年度版

# 仙台管内の



Sendai Area 2021

# 農業農村整備事業の概要



次代にむけて  
田水郷をつなぐ  
みやぎの農業・農村

● 松島町手樽地区 ●



SDGs (持続可能な開発目標)の理念を踏まえて

## 宮城県仙台地方振興事務所 農業農村整備部

〒981-8505

宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号(宮城県仙台合同庁舎内) 1階及び6階

代表電話 022 (275) 9111

FAX 022 (706) 1114 [1階] 022 (274) 5876 [6階]

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-ns/>





# 東日本大震災からの復旧・復興について

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、仙台管内では最高震度6強を観測しました。また、太平洋沿岸中心に高い津波を観測し、東北地方から関東地方まで大きな被害が発生しました。仙台管内では仙台港で約7.2mの津波の痕跡が確認されました。津波到達距離は、最大で内陸に6kmに達し、浸水区域は327km<sup>2</sup>で県土の4.5%が浸水し、仙台管内では仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町が浸水しました。

## ● 東日本大震災による仙台管内の農地・農業用施設等被災概況

市町村名(6市7町1村)	主な工種等 ※国直轄災害復旧事業を含む
仙台市	農地1,875ha、用排水機場50箇所、農集排15箇所 ※
塩竈市	農地海岸2,366m
名取市	農地1,588ha、用排水機場52箇所、農集排2箇所 ※
多賀城市	農地68ha、頭首工2箇所、橋梁、農道
岩沼市	農地1,240ha、用排水機場23箇所、排水路 ※
富谷市	ため池2箇所、用排水路88m
亶理町	農地2,711ha、用排水機場35箇所、排水路、農地海岸 ※
山元町	農地2,164ha、用排水機場39箇所、排水路、農地海岸 ※
松島町	農地海岸1,298m、農地64ha、排水路、頭首工
七ヶ浜町	農地122ha、用排水機場15箇所、ため池10箇所
利府町	ため池3箇所、道路278m
大和町	ため池32箇所、農集排1箇所、農地50ha
大郷町	農集排1箇所、排水路、ため池27箇所、頭首工
大衡村	ため池3箇所
津波被害農地	8,935ha(管内津波被災市町の耕地面積19,062haの約5割、県全体津波被害農地14,341haの約6割) 仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町



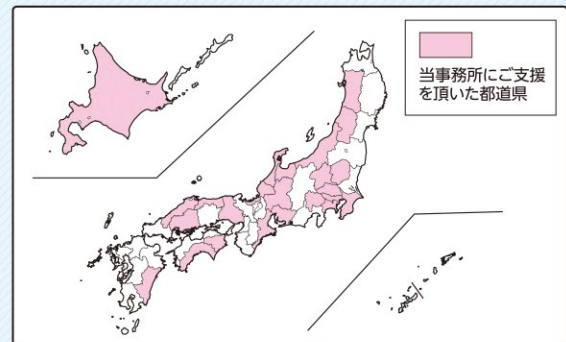
仙台市 荒浜 (平成23年3月)



岩沼市 東川排水路 (平成23年3月)

## ● 地方自治法に基づく派遣職員の活躍

仙台管内の被害が大きく、農地整備や換地業務などの復旧・復興業務に携わる職員が不足したため、当事務所には、地方自治法に基づき、平成23年度から令和2年度までに1都1道22県から延べ258人の職員を派遣していただきました。派遣職員の方々の活躍により、当管内の復旧・復興は大きく前進しました。



## ● 農地海岸堤防の復旧状況 (早川西農地海岸・松島町)



(平成23年3月)



(平成27年7月)

## ● 国直轄事業及び県営災害復旧事業

	除 塩		農 地		農業用施設		農地海岸	
	事業量 (ha)	総事業費 (百万円)	事業量 (ha)	総事業費 (百万円)	事業量 (箇所)	総事業費 (百万円)	事業量 (箇所)	総事業費 (百万円)
<b>国直轄事業</b>								
仙台市・名取市・岩沼市 (名取川地区)	—	—	—	—	18	15,474	—	—
仙 台 市 (仙台東地区)	1,393	677	1,810	17,266	92	32,120	—	—
亶理町・山元町 (亶理・山元地区)	—	—	—	—	26	12,268	—	16,295
<b>県営災害復旧事業</b>								
仙 台 市	48	23	—	—	—	—	—	—
塩 竈 市	22	65	22	557	2	49	42	9,577
名 取 市	1,173	344	579	3,412	43	443	—	—
岩 沼 市	845	296	662	2,213	37	719	—	—
亶 理 町	1,300	386	981	6,946	51	1,447	—	—
山 元 町	892	354	1,005	3,875	21	3,070	—	—
松 島 町	19	36	7	75	19	1,035	12	4,391
七ヶ浜町	121	66	126	685	32	1,136	—	—
計	4,453	1,571	3,382	17,817	267	9,128	54	14,100

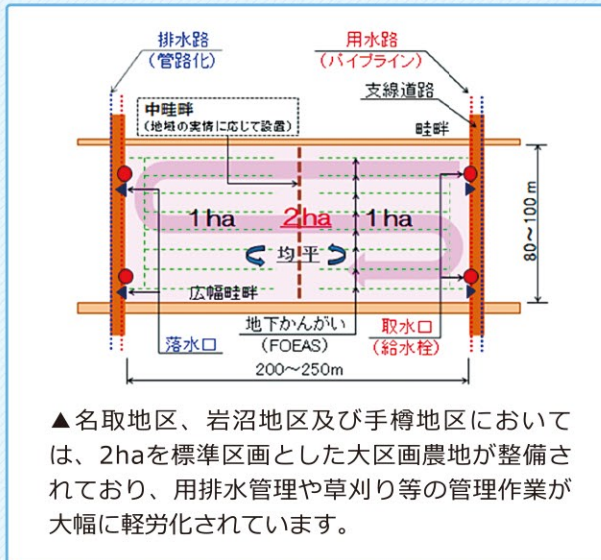


## 農山漁村地域復興基盤総合整備事業(復興交付金事業)

東日本大震災復興特別区域法に基づく復興交付金事業の基幹事業のひとつである農山漁村地域復興基盤総合整備事業を県営事業として実施しました。ほ場の大区画化等の基盤整備を行い、農地の面的な集約及び経営規模の拡大による競争力のある経営体の育成を支援します。

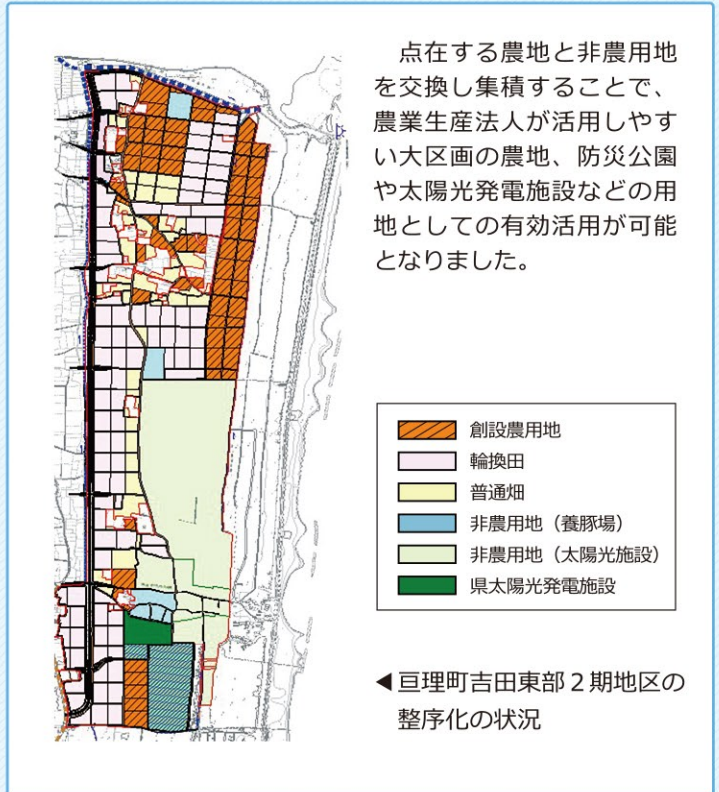
※事業地区、総事業費等は裏面地図の左下の凡例を参照。

### ● 新たな標準区画



荒浜北部地区（亶理町）整備後の農地

### ● 土地利用の整序化



## 農村地域復興再生基盤総合整備事業(復興再生事業)

震災による津波被災地だけではなく、広域的な地盤沈下等の被害を受けた地域も含めて一体的な整備を図ると共に、農地の排水不良や用排水施設の維持管理経費増等に対処するため、太陽光発電施設整備や水管理システム整備などを行うことで、復興を円滑かつ迅速に推進し、安全で安心して暮らせる地域の再生を目指します。

※事業地区、総事業費等は裏面地図の左下の凡例を参照。



水管理システム（亶理・山元地区）

## 太陽光発電施設整備

当管内では平成29年3月に完成した2か所（岩沼藤曾根、亶理・山元第2）の太陽光発電所に加えて、新たに仙台東太陽光発電所が完成し、震災により増大した維持管理費（電気料金）に対する農家負担の軽減が図られています。



亶理・山元第2地区太陽光発電所



# 令和3年度の施策

当部では農業の有する多面的機能を維持・継承していくために、「みやぎ農業農村整備基本計画」に基づき農地の生産性向上や農村の生活環境改善・農村の活性化に向けて、3つの施策に取り組んでいきます。

## 施策① 人口減少の中で持続的に発展する農業の振興

### 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化



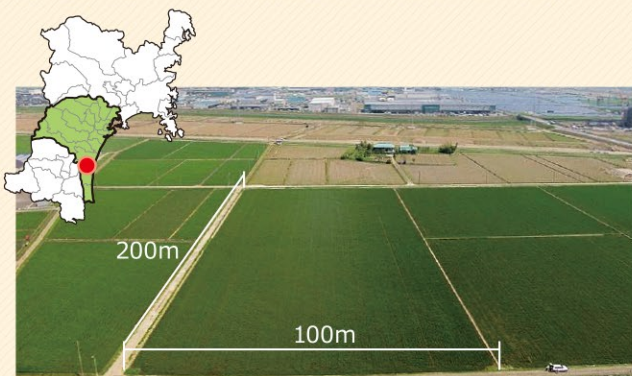
競争力の高い農業生産基盤とするため、農地整備事業等による農地の大区画化や中山間地域における耕作条件の改善、作業の効率化等を推進します。

また、農地利用の高度化を図るため、担い手への集積・集約化も推進します。

### ● 農地整備事業

生産効率が高く競争力のある「攻めの農業」を実現するため、担い手への農地集積を加速するとともに、農業の高付加価値化等を推進するための農地の区画整理、農業用排水施設の整備等を行います。

震災以降は沿岸部の復旧・復興を優先し、名取地区、岩沼地区、手樽地区で2haを標準区画とした大区画農地を整備してきたことから、今後は内陸部の農地整備も計画的に進めていきます。令和3年度は仙台市西部の日向地区、倉内・大針地区の農地整備事業に取り組むほか、山形県境近くの野尻地区等において、調査計画を進めていきます。



岩沼地区2ha標準区画ほ場



R3調査計画 野尻地区

### ● 水田整備状況

市町村名	水田面積 (ha)	令和元年度実績			
		整備済 (ha)※1	率 (%)	うち大区画※2	
				整備済 (ha)	率 (%)
仙台市	5,210	4,073	78%	1,505	29%
塩竈市	21	0	0%	0	0%
名取市	2,410	1,871	78%	1,013	42%
多賀城市	325	239	73%	198	61%
岩沼市	1,510	1,422	94%	811	54%
富谷市	641	364	57%	30	5%
亘理町	2,600	2,371	91%	1,588	61%
山元町	1,440	1,168	81%	722	50%
松島町	872	795	91%	304	35%
七ヶ浜町	109	109	100%	90	83%
利府町	301	0	0%	0	0%
大和町	2,310	1,756	76%	333	14%
大郷町	1,950	1,350	69%	194	10%
大衡村	1,150	119	10%	0	0%
仙台管内計	20,849	15,637	75%	6,787	33%
宮城県計	110,277	78,787	71%	35,397	32%

※1:20a区画以上 ※2:50a区画以上

農地中間管理機構関連農地整備事業				
地区名	関係市町名	受益面積 (ha)	総事業費 (百万円)	工期
日向	仙台市	14	484	R1~R5

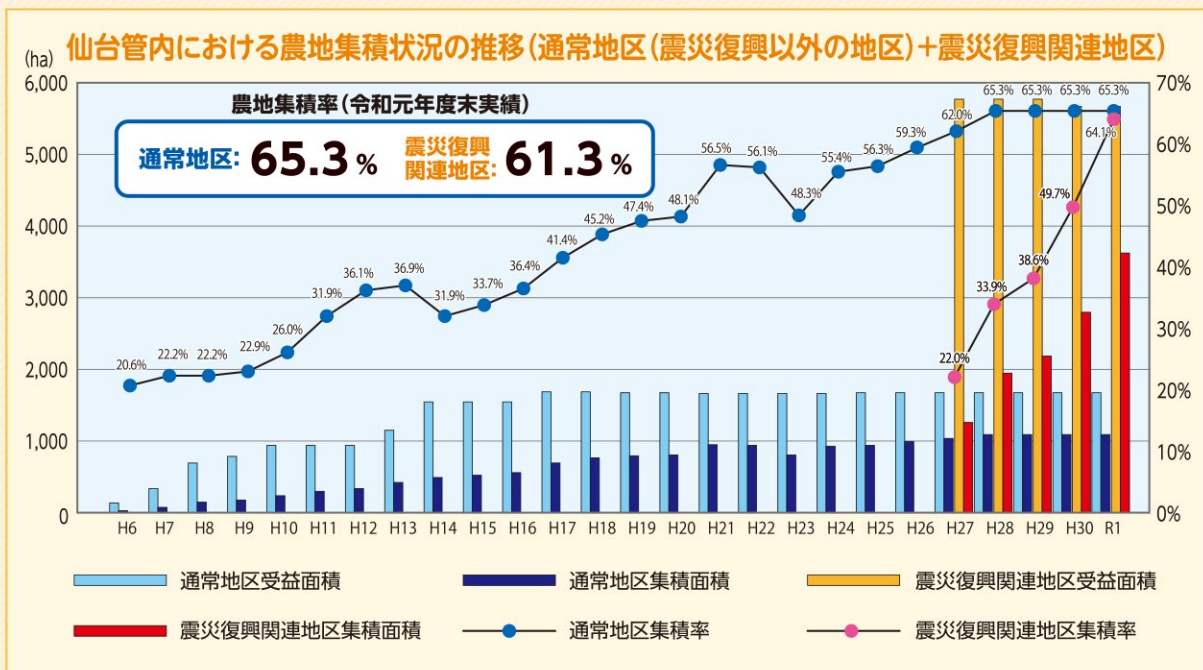
農業競争力強化基盤整備事業				
地区名	関係市町名	受益面積 (ha)	総事業費 (百万円)	工期
倉内・大針	仙台市	29	997	R3~R8

農地整備事業予定地区			
地区名	関係市町名	受益面積 (ha)	調査期間
野尻	仙台市	20	R2~R4
下余田2期	名取市	68	R2~R4
前川	大郷町	366	R2~R4



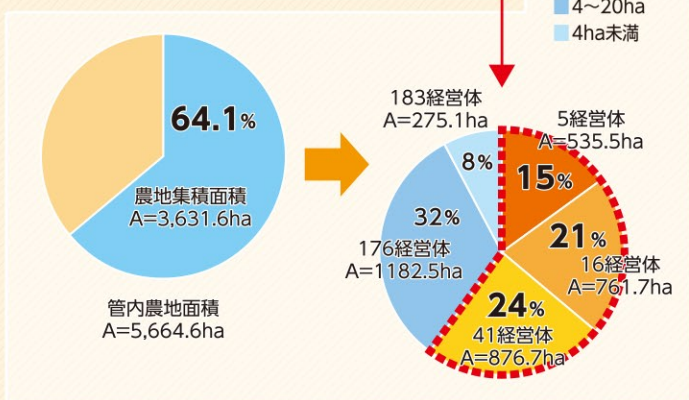
## ● 農地集積

農地整備事業を実施した地区においては、経営体育成等基盤整備関連促進計画等で掲げている担い手への農地集積目標の達成に向けて、担い手育成や土地利用調整等の活動を支援しています。



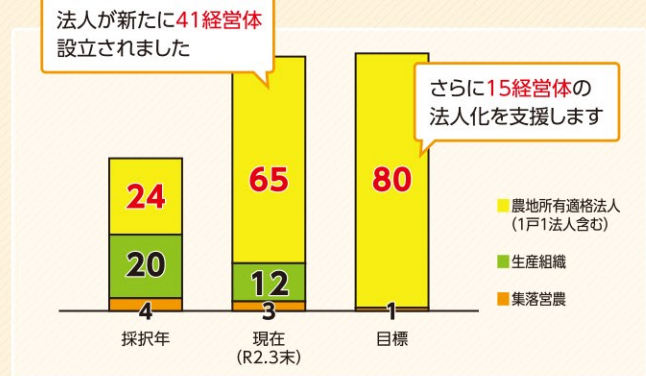
## ● 経営規模別耕作面積

仙台管内農地集積率は **64.1%**  
うち、20ha以上の経営体による耕作割合は **60%** ※R2.3末時点



## ● 農地所有適格法人の育成

法人数24経営体(H24)⇒ **80経営体(目標)**  
(国営、復興再生地区含む18地区)



※復興交付金地区の採択年度はH24~H26  
※復興再生事業地区の採択年度はH27(仙台東地区はH24)

### 先進技術を取り入れた農業生産の効率化と高度化

ICT(情報通信技術)、ロボットやAI等の先端技術を活用したスマート農業を導入することで、生産効率を高め、競争力ある「攻めの農業」を実施します。省力・低コスト化につながるスマート農業技術を多くの経営体に普及していきます。

### 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立

園芸産出額の倍増を目指し、競争力の高い園芸産地を確立するため、加工・業務用などの実需者ニーズに対応した大規模(1ha以上)露地栽培の拡大、企業参入の促進により、地域の園芸振興の中核となる生産拠点を築きます。



復興事業で整備された218haの畑地でのネギの作付け状況(山元町)



## 施策② 多様な主体が活躍できる農村の構築

環境と調和した持続的な農業・農村づくり



### ● 多面的機能支払交付金

農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るために行われる地域の共同活動を支援するため、地域資源の適切な保全管理を推進します。当管内では、13市町村で合計181組織が活動しています。組織への参加人数は約1万3千人に及びます。



二ノ関地区保全隊（富谷市）側溝の泥上げの様子



中野地域資源保全会（大和町）景観形成活動の様子

市町村名	組織数	取組面積 (ha)
仙台市	50	3,021
塩竈市	1	22
名取市	19	1,563
多賀城市	7	271
岩沼市	19	1,242
富谷市	6	295
亘理町	3	2,955
山元町	8	362
松島町	6	659
七ヶ浜町	1	121
大和町	35	1,810
大郷町	16	1,390
大衡村	10	901
合計	181	14,612
宮城県計	976	73,964

(長寿命化は除く)

### ● 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、農業生産活動を将来に向けて維持するための活動を支援するため、後継者の確保や集落間での連携した活動づくりを後押しします。

当管内では、仙台市、大和町において13協定が活動に取り組んでおり、協定への参加人数は約280人に及びます。



◀ 難波集落協定（大和町）  
景観形成活動の様子



▶ 白木地区集落協定（仙台市）  
生産活動が維持されている  
中山間の農地

市町村名	協定数	交付面積 (ha)
仙台市	11	182
大和町	2	44
合計	13	226
宮城県計	212	2,166



# 施策③ 自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化

## 利水・治水の安定化を図る農業用水利施設整備の推進



### ● 農業水利施設ストックマネジメント

仙台管内には、頭首工、揚水機場などの農業水利施設が864施設あります。その内80%の施設は標準耐用年数を超過しており、老朽化が進行しています。そのため、農業水利施設の劣化状況の把握や要因を特定する機能診断を行い、機能保全計画の作成を進め、改修等を計画的に実施しています。

管内	施設区分	施設数		標準耐用年数	標準耐用年数超過施設数		標準耐用年数超過施設数	
			占有率		2010年	超過割合	2020年	超過割合
仙台	揚水機場	456	53%	20年	326	71%	413	91%
	用水機場	376	44%	20年	277	74%	345	92%
	排水機場	80	9%	20年	49	61%	68	85%
	頭首工	182	21%	50年	80	44%	97	53%
	水門等	226	26%	30年	130	58%	182	81%
	計	864	100%		536	62%	692	80%
全県合計		3,293			1,826	55%	2,509	76%

農業水利施設の経過年数の状況（R2年3月現在）

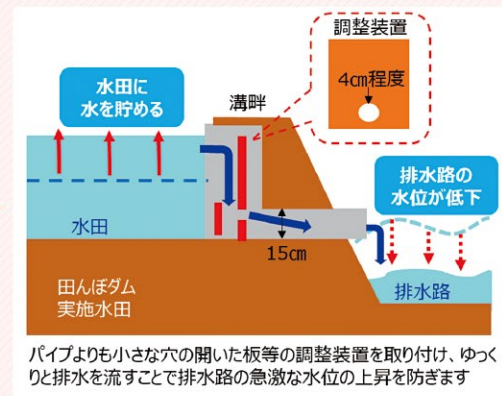
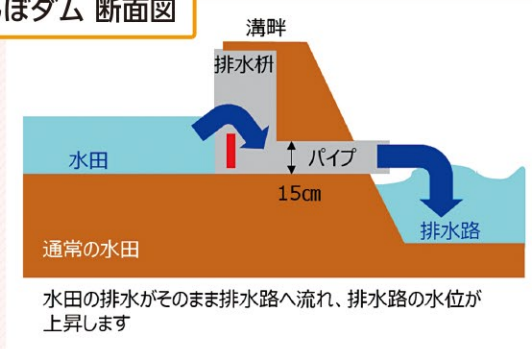
### ● 流域治水への転換と農業農村整備の役割

年々豪雨や台風等の発生頻度が増加しています。洪水や浸水被害等を防止するため、国、県、市町村、企業、住民等の関係者が一体的に取り組む流域治水への転換を進めます。また、農業農村整備の分野では、既存農業用ダムの洪水調節機能強化や水田の洪水防止機能を強化する目的で田んぼダムの整備を進めます。



嘉太神ダム（大和町）における事業実施に向けた実施設計のためのボーリング調査

#### 田んぼダム 断面図



### ● ため池の防災・減災

仙台管内には、1,646か所の農業用ため池があり、うち、335か所が防災重点ため池に指定されています。防災重点ため池とは、ため池が決壊した場合の浸水区域に、家屋や公共施設が存在し、人的被害が想定されるため池のことです。防災重点ため池335か所のうち205か所のため池については自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したハザードマップを市町村が作成し、HPなどで周知を図っています。

#### ● 仙台管内でハザードマップを公表している市町村はこちら

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-ns/tameikebousaimap.html>





## 農業農村を伝える当部の取組み

農地整備事業等の工事、揚水機場の維持管理など広く農業農村整備事業への理解を深めてもらうことを目的として、毎年、大学3年生を対象としたインターンシップの受け入れを実施しております。また、小学校等を対象に農業農村整備の仕事についての学習や生き物調査などの課外授業を実施しています。御希望の場合は当事務所農業農村整備部までご連絡ください。



インターンシップ受け入れの様子



小学校への学習支援の様子

## 仙台地方振興事務所 農業農村整備部 担当業務案内

- 各事業の担当班など、詳しくはこちら

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-ns/>



## 管内市町村・土地改良区位置図



- 市町村及び土地改良区の情報はこちら

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-ns/nnkairyo-ku.html>

